

栃木県生涯学習ボランティアセンターでは、ボランティア活動をしてみたいという方に対して、情報提供や支援を行っています。

＜「とちぎかがやきネット」のボランティア情報について＞

栃木県生涯学習ボランティア活動支援情報提供システム「とちぎかがやきネット」では、ボランティアに関する情報を提供しています。ぜひご活用ください。

例えば、かがやきネットで、アイコン（写真やイラストのところ）をクリックすると、ボランティアに関する活動情報や人材情報などを検索することができます。

とちぎかがやきネット
QRコード



ボランティア関係の活動を探したい時は…。

日時や地域、参加対象、分野などを絞り込んで検索できます。



ボランティア人材情報

ボランティアをお願いしたい時は…。

当センターに登録している団体や個人で、希望している分野のボランティア情報があるか、検索できます。該当する団体や人が見つかりましたら、当センターに御連絡ください。コーディネートします。

青少年の体験活動
ボランティア活動情報



青少年の体験活動、ボランティア活動情報を探したい時は…。

情報を開催順に一覧にまとめ、前期（4～9月）と後期（10～3月）に分けて掲載しています。

シルバー大学校 卒業生と地域活動団体とのマッチング授業

栃木県シルバー大学校は、積極的に地域活動を実践する高齢者の養成を目的としています。9月に、地域活動への動機づけや卒業後の活動継続のため、地域で活動している団体との出会いの場となることを目的に、マッチング授業が行われました。

栃木県生涯学習ボランティアセンターも各教育事務所のボランティアセンター担当と一緒に、中央校、北校、南校の全てに参加してきました。



中央校のマッチング授業の様子

レインボークラブ

平成4年から宇都宮市内を中心に犬や猫、ウサギやインコなどのペットと共に、高齢者の施設を訪問して活動しています。会員は33名で、2箇所の施設を1月に3回訪問しています。1回の活動は約1時間で、10人程度のメンバーで行っています。メンバーには獣医師もいて、活動中は常にペットの様子（疲労や気分、健康状態等）を確認しています。

代表の矢部さんに、これまでの活動で印象に残っていることを伺ったところ、「入所以来、声を発することがなかった施設の利用者が、ペットに触れて、声を出して笑ったり話をしたりしていました。そして、その様子を見た施設職員の方が喜んでくれたことです。」ということでした。

今回取材に伺った施設でも、利用者が列を作って様々なペットと触れ合う時間を楽しみに待っていました。また、実際に猫や小型犬をひざに乗せたり、大型犬の頭をなでたりしながら、若い頃に飼っていた動物との思い出でボランティアの方と話がはずんだり、穏やかな表情を浮かべたりしていました。今後メンバーが増えれば、活動回数を増やすことができるということでした。ペットを飼っている皆さん、参加してはいかがでしょうか。

活動の様子



レインボークラブのメンバー

さくらジュニアリーダーズクラブ

会員は現在44名で、月2回の定例会の他に、イベント等でバルーンアートやレクリエーションの進行依頼を受けて活動しています。さくら市子ども会連合会主催のキャンプに参加した時に、メンバーの活躍を見て、入会を決めた方が多いそうです。今回取材に伺った「ゆめ！さくら博」

で活動していたメンバーに話を聞いたところ、「無理のない範囲で参加できること、積極的に人と関わり活動することが多くなったこと」等の自分自身の変化を感じているようでした。中には、ジュニアリーダーズクラブとして活動できるのは、中学2年～高校3年までなので、その後は、さくら市子ども会連合会のシニアリーダーに登録して、後輩達の活動支援に関わっていきいたいという方もいました。

活動の様子



ジュニアリーダーズクラブのメンバー

<総合教育センターボランティアの会です！！>

私たちは、栃木県総合教育センター生涯学習部が主催する研修・講座修了者で組織しています。平成6年に発足して今年で25年になりました。現在の会員は7名ですが、県内各地から集まって活動しています。発足当時は、総合教育センター養成講座事業で、グループ学習を行う時の補助役をはじめ、受講者目線での相談や情報提供者としての役割も担っていました。時と共に役割も変化し、現在は主に、総会、毎月定例会、研修時等で「センターの施設案内」、「県民の日の一日出張相談」、センターの開放事業への参加、自主事業などの活動をしています。

